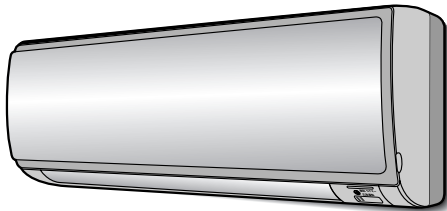
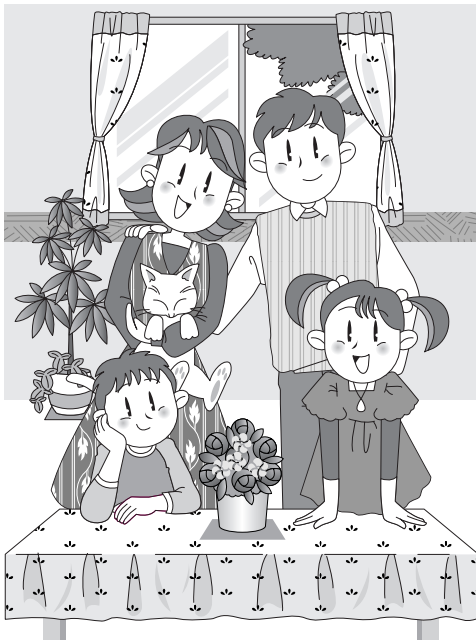
日立ルームエアコン

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

RAS-DJ22Y形　RAS-DJ36Y形
RAS-DJ25Y形　RAS-DJ40Y2形
RAS-DJ28Y形　RAS-DJ50Y2形

室内機 RAS-DJ22Y形／室外機 RAC-DJ22Y形　室内機 RAS-DJ36Y形／室外機 RAC-DJ36Y形
室内機 RAS-DJ25Y形／室外機 RAC-DJ25Y形　室内機 RAS-DJ40Y2形／室外機 RAC-DJ40Y2形
室内機 RAS-DJ28Y形／室外機 RAC-DJ28Y形　室内機 RAS-DJ50Y2形／室外機 RAC-DJ50Y2形

この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

インバーター
冷房・暖房
カラッと除湿タイプ
〈セパレート壁掛形〉

はじめに

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 2～5
- 据え付け上の注意事項 …… 2
- 使用上の注意事項 …… 3～5
- 移設・修理時の注意事項 …… 5

各部の名称と働き（室内機／室外機／リモコン） …… 6 7
リモコンの準備 …… 8
ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター（別売）の取り付けかた …… 8

基本的な使い方

自動運転 …… 9
手動運転（暖房・カラッと除湿・涼快・冷房・送風（ナノチタン空気清浄）） …… 10
カラッと除湿運転 …… 11
涼快運転 …… 11

便利な使い方

エアコンクリーン運転 …… 12
風向の調節 …… 12
タイマー予約運転 …… 13
おやすみタイマー運転 …… 14

上手な使い方

お手入れ …… 14 15
運転のしくみと知っておいていただきたいこと …… 16 17
上手な使い方 …… 18

アフターサービス

故障かな？と思ったら …… 19
保証とアフターサービス …… 20
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 20
定期点検 …… 21
付属部品・別売部品について …… 21
据え付けについて …… 22
仕　様 …… 23
お客様ご相談窓口 …… 裏表紙

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
小さいお子様などにつきましても安全のために、警告・注意に記載されている部分に触れることのないようくれぐれもご注意ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告……この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意……この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

● **改造は行わない**
改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災の原因になります。

● **据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

● **電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する**
専用以外のコンセントを使用すると発熱し、火災の原因になります。

● **アース（接地）を確実に行う**
● **アース工事は、販売店または専門業者に依頼する**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

● **湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは、漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

● **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは、設置しない**
万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火して火災の原因になることがあります。

● **除湿水は、確実に排水できるようにする**
排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になることがあります。

● **指定以外の電源に接続しない**
指定以外の電源を使うと、発熱し、火災の原因になります。

使用上の注意事項

⚠警告

- **長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない**
  体調悪化や健康障害の原因になります。

- **電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む**
  ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

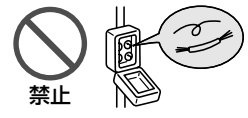
強制
- **電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線やステップルなどでの固定を行わない**
  また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する
  感電や火災の原因になります。

- **電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物の間にはさんだりしない**
  電源コードが破損する原因になります。
  傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。

- **電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない**
  感電や火災の原因になります。

- **室内･室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
  また、性能が低下します。

- **異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
  異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

- **安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない**
  故障や火災の原因になります。

- **落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）**
  落雷の程度によっては、故障の原因になります。

プラグを抜く
- **エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する**
  エアコンに使用されている冷媒そのものは無害です。万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生します。刺激臭があるときには、すぐにエアコンを停止し窓等を開けて換気し、販売店にご連絡ください。

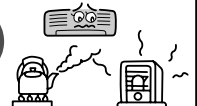
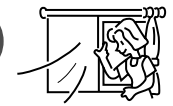
…安全上のご注意（つづき）

使用上の注意事項

⚠注意

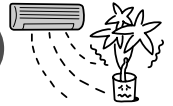
● **このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しない**
エアコン自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になることがあります。

● **ぬれた手で、スイッチを操作しない**
感電の原因になります。

● **エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

● **燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**
コードの内部が断線して、発熱や発火などの原因になることがあります。

● **長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない**
室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。

● **エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない**
漏電によって、感電や発火の原因になります。

● **動植物に直接風があたる場所には設置しない**
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

● **掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。

● **長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**
ホコリがたまって発熱や発火などの原因になることがあります。

⚠注意

使用上の注意事項

- **室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない**
  落下や転倒などにより、けがの原因になります。

- **エアコンの下に他の電気製品や家財などを置かない**
  水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になります。

- **冷房・カラッと除湿・涼快運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転または、上下風向板を下向きにしたままで長時間運転をしない**
  上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財を濡らす原因になることがあります。

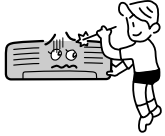
- **能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない**
  設定温度に達しないことや、露が落ちて家財を濡らす原因になることがあります。

- **エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する**
  市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかると、感電や火災の原因になります。

- **室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
  けがの原因になります。

- **冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない**
  火傷の原因になります。

- **エアコンの清掃時には、手袋を着用する**
  けがの原因になります。

⚠警告

移設・修理時の注意事項

- **修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する**
  ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

- **エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
  ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災の原因になります。

各部の名称と働き

室内機

上面グリル

フロントパネル

マイクロメッシュ・ステンレスフィルター（内部にあります。）

空気中のチリやホコリなどをキャッチします。
（☞ ⓯ページ）

電源プラグ

上下風向板／左右風向板（吹き出し口）

（☞ ⓬ページ）

表示部

受信部

リモコンからの信号を受信します。

リモコン

（☞ ❼ページ）

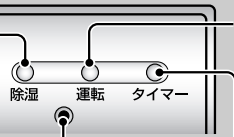
リモコン取付具

壁や柱にリモコンを固定するときに使います。

室内機表示部

除湿ランプ（緑）
除湿運転中に点灯します。

運転ランプ（黄）
運転中に点灯します。

除湿　運転　タイマー

タイマーランプ（橙）
タイマー予約時に点灯します。
（☞ ⓭⓮ページ）

応急運転スイッチ
（☞ ❼ページ）

暖房運転時、次の場合に運転ランプが点滅し、超微風運転、または風が止まる場合があります。（故障ではありません）

予熱運転
運転開始後の2～3分間で室内機の熱交換器を暖めます。

霜取り運転
室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。霜の付き方によって違いますが、およそ10分程かかり、最長時間は20分です。ご使用条件により霜取り運転に入る頻度が変わります。

オートフレッシュ除霜運転
運転を停止したときに、室外機の熱交換器に霜が付いていたら、霜取り運転を行います。

室外機

排水ホース
“冷房”“カラッと除湿””涼快”運転時には室内機からの除湿水を室外へ排水します。

吹き出し口
“暖房”運転時には冷風を、“冷房”“涼快”運転時には温風を、“カラッと除湿”運転時には温風または冷風を吹き出します。

配管・配線

吸い込み口（背面と左側面）
※RAC-DJ40Y2・DJ50Y2は背面と両側面

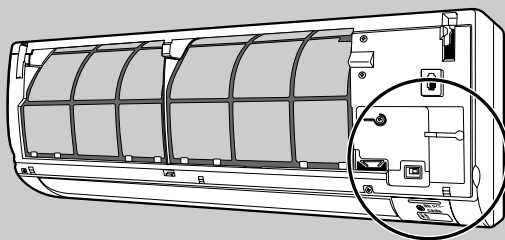
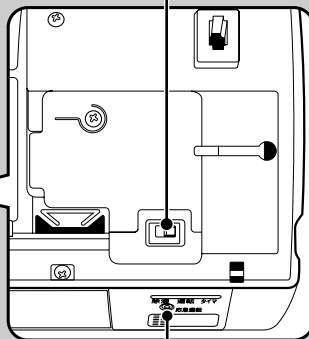
排水口（下面）

アース端子（側面下部）

室外機について

- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。
- 公団吊り等をする場合は、排水口にブッシュとドレンパイプを取り付けて排水処理をしてください。

室内機操作部

■ フロントパネルを取り外した状態です。
（フロントパネルの取り外しかたは 15ページ）

電源スイッチ
（待機電力カットスイッチ）

応急運転スイッチ

⚠ 注意

長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にする。また、室外機から電源を取っている場合は、必ずブレーカーを切る。

☆電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。電源スイッチ（室外機より電源を取っている場合はブレーカー）を切ることで、節電効果があります。
☆電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。
応急運転は、前回の運転内容で運転します。（但し、電源を入れた直後は自動運転を行います）

リモコン

■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。
☆図の液晶表示は、リセットスイッチを押した直後の表示を示します。
本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

送信部

送信マーク
送信したとき、点灯します。

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

エアコンクリーンボタン
エアコンクリーン運転を開始します。（12ページ）

タイマー合わせ部

切 タイマーボタン
切 タイマーの時間を選びます。

入 タイマーボタン
入 タイマーの時間を選びます。

予約／取消ボタン
タイマー予約の内容を室内機に予約します。もう一度押すと、タイマー予約を取り消します。（13ページ）

自動風向ボタン
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（12ページ）

涼快ボタン
涼快運転を開始します。（11ページ）

カラッと除湿ボタン
カラッと除湿運転を開始します。（11ページ）

運転切換ボタン
運転の種類を選びます。（10ページ）

室温設定ボタン
室温を設定します。押し続けると早送りになります。（10ページ）

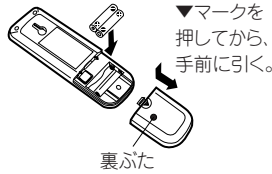
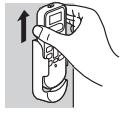
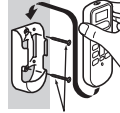
風速切換ボタン
風速を選びます。（10ページ）

おやすみタイマー運転ボタン
おやすみタイマー運転を開始します。（14ページ）

リセットスイッチ
電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。

リモコンの準備

リ モ コ ン の 準 備

①裏ぶたを開け、乾電池を入れる。
（単4形を2本お使いください）
②裏ぶたを閉める。
③リセットスイッチを押す。

リモコンは、付属の取付具で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。
事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。

●上から押し込む。

●外すときはリモコンの上部を持って引き抜く。

リモコンを操作するとき

● **操作は、室内機の受信部に向けて。**
受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある時は受信距離が短くなる場合があり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

正面で約7m

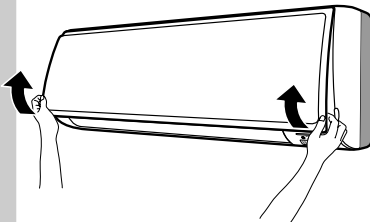
● **リモコンはていねいに扱ってください。**
落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。

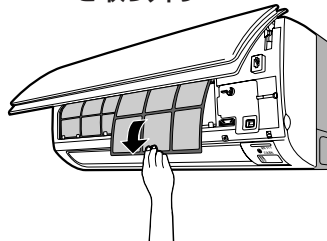
乾 電 池 に つ い て

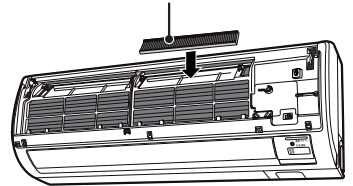
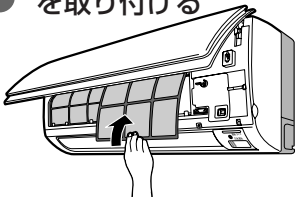
● 乾電池の寿命は、普通の使いかたで約1年です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。また、付属の乾電池はモニター用です。
● 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。
● 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
● 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
（1）乾電池の＋（プラス）、－（マイナス）の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
（2）新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
（3）長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

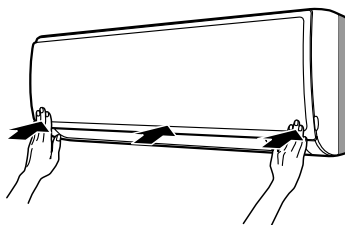
ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター（別売）の取り付けかた

■ リモコンで運転を停止してから行ってください。

1 フロントパネルを開ける

● フロントパネルの左右側面下部を必ず両手で持ち、手前に引き上げ止まるところまで開けます。

2 マイクロ・メッシュステンレスフィルターを取り外す

● 左右2枚のフィルターを手前に引き出します。

3 ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターを取り付ける（2枚）

4 マイクロ・メッシュステンレスフィルターを取り付ける

● フィルターは 前 表示のある方を手前にして取り付けてください。
（フィルターは、左・右で形状が異なります。）

5 フロントパネルを閉じる

● フロントパネルを必ず両手で持って、閉じたあと、矢印部（3ヵ所）を押します。

⚠ 注意

● **フロントパネルが、ガタついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。**
● **マイクロ・メッシュステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。**
熱交換器のすき間や機械にホコリが入り、熱交換器に臭いの成分が付着したり、故障の原因になります。
● **マイクロ・メッシュステンレスフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。**

自動運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

■ 運転開始時の温度によって“暖房”“カラッと除湿”“冷房”の中から、その室温に見合った運転を自動的に行います。

1 運転の種類を“自動”に設定する

1 ボタンを押す

2 運転開始

2 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、自動運転を開始します。

停止

もう一度 運転／停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音がして、運転を停止します。

■ お好みに応じて、室温の微調節と風速の切り換えができます。

1 室温の微調節

  ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、1回押すごとに1℃変化します。
- 自動設定した室温より1℃高い温度に設定すると ▲ 1℃ と表示されます。
  自動設定した室温より1℃低い温度に設定すると ▼ 1℃ と表示されます。
- 調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。

2 風速の切り換え

2 ボタンを押す

- “自動”と“微”“静”が選べます。

基本的な使い方

手動運転〔暖房・カラッと除湿・涼快 冷房・送風（ナノチタン空気清浄）〕

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

1 運転の種類を選ぶ

運転切換 ボタンを押す

- 暖房･カラッと除湿（リモコンの表示は "除湿" です）･涼快･冷房･送風（表示は "空清" です）のいずれかを選べます。
- 別売のナノチタン除菌・脱臭空清フィルターを取り付けたときは、ナノチタン空気清浄運転を行います。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押した場合、自動のときは "ピピッ" その他は "ピッ" と受信音がします。

2 風速のセット

風速切換 ボタンを押す

- 自動･強･弱･微･静のいずれかを選べます。
  （但し、送風（ナノチタン空気清浄）運転のときは強･弱･微･静のいずれかを選べます。）
- 風速の表示は、運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 風速切換 ボタンを押した場合、自動のときは "ピピッ"、その他は "ピッ" と受信音がします。

3 室温のセット

■ リモコン設定温度範囲

暖房･涼快･冷房	16〜32℃
カラッと除湿	10〜32℃

- 室温の表示は、運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 室温 ボタンを押した場合、20℃のときは "ピピッ"、30℃のときは "ピピピッ"、その他は "ピッ" と受信音がします。

4 運転開始

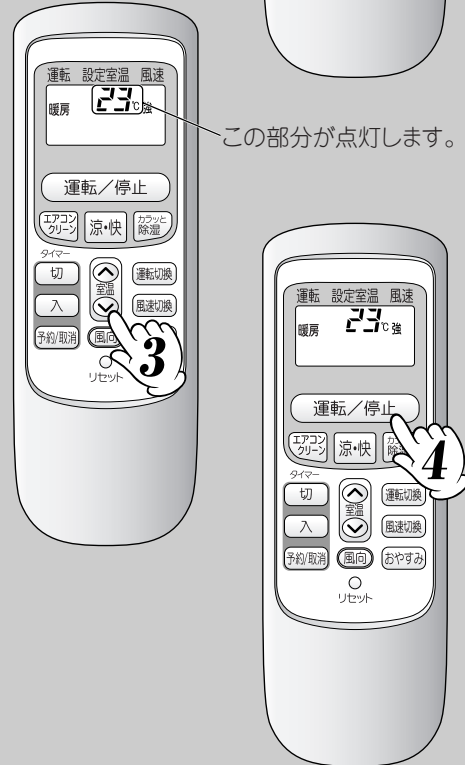
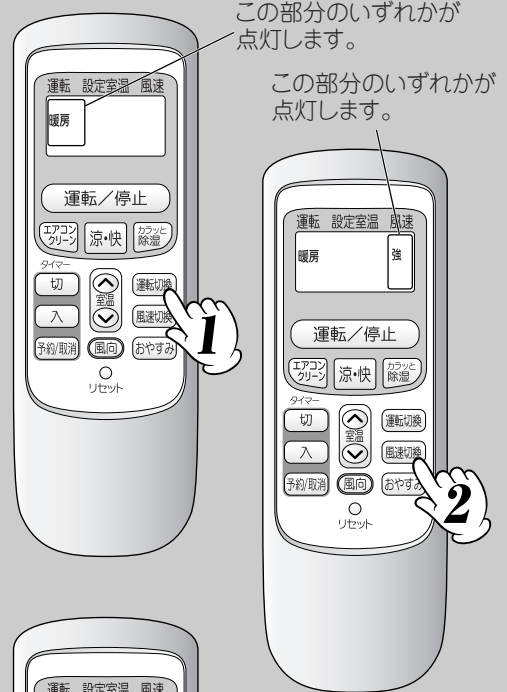
運転／停止 ボタンを押す

- "ピッ" という受信音がして、運転を開始します。

停止

もう一度 運転／停止 ボタンを押す

- "ピー" という受信音がして、運転を停止します。

- 次回からは 運転／停止 ボタンを押すだけで、上記 1 〜 3 でセットした同じ運転ができます。

■ 次の運転条件でご使用ください。

暖　　房	カラッと除湿	涼　　快	冷　　房
● 外気温－10℃〜21℃以下 （－10℃未満のときや、24℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。）	● 外気温　1℃〜35℃以下 （室温1℃以下では運転しません。）	● 外気温 25℃〜35℃以下	● 外気温 22℃〜43℃以下

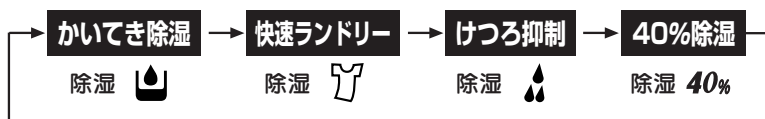
- 冬季に冷房運転を行わないでください。

カラッと除湿運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

■ カラッと除湿 ボタンを押すと、4種類の"カラッと除湿"運転が行えます。

 カラッと除湿 ボタンを押す

- "ピッ"という受信音がして、カラッと除湿運転を開始します。
  押すたびに下のように切り換わります。

- **お好みに応じて、室温の微調節（☞ 9ページ）と風速の切り換え（☞ 10ページ）ができます。**
- 設定室温は、室温ボタンを1回押すごとに1℃変化します。
  （設定できる範囲は、室温に対して高めに3℃、低めに3℃です。）

停止 運転／停止 ボタンを押す

- "ピー"という受信音がして、カラッと除湿運転を停止します。

- 運転停止後のリモコンに表示される運転モードは カラッと除湿 ボタンで運転する前の表示に戻ります。

涼快運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

■ 涼・快 ボタンを押すと、エアコンが自動的に温度と湿度を設定する涼快運転を行います。（加湿する機能はありません。）

 涼・快 ボタンを押す

- "ピッ"という受信音がして、涼快運転を開始します。
- **お好みに応じて、室温の微調節（☞ 9ページ）と風速の切り換え（☞ 10ページ）ができます。**
- 設定室温は、室温ボタンを1回押すごとに1℃変化します。
  （設定できる範囲は、自動設定した温度に対して高めに3℃、低めに3℃です。）
- 湿度の調節はできません。

停止 運転／停止 ボタンを押す

- "ピー"という受信音がして、涼快運転を停止します。

- 運転停止後のリモコンに表示される運転モードは 涼・快 ボタンで運転する前の表示に戻ります。

エアコンクリーン運転

■ 冷房シーズンの終わりのときにエアコンクリーン運転を行いますと、室内熱交換器を乾燥し、カビの発生を抑えます。
（発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません。）

停止中に エアコンクリーン ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに「クリーン」が点灯し、エアコンクリーン運転を開始します。
- エアコンクリーン運転中は、室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- 約30分の運転を行って自動的に停止します。リモコンの「クリーン」は運転停止後約30分後に消灯します。
- 運転中、タイマー予約中は設定できません。

取消し 運転／停止 ボタンまたは エアコンクリーン ボタンを押す

風向の調節

■ 上下の風向―必ずリモコンで操作してください。（手で動かすと、故障の原因になります。）

自動セット

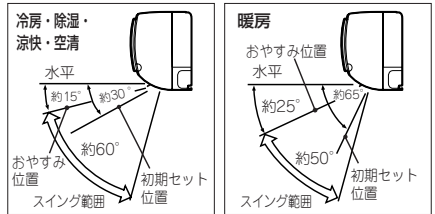
- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
  通常、上下の風向操作は特に必要ありません。

上下お好み風向

- 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、風向 ボタンで上下風向板を動かし、お好みの位置になったら、もう一度 風向 ボタンを押して止めてください。

1 風向 ボタンを押す

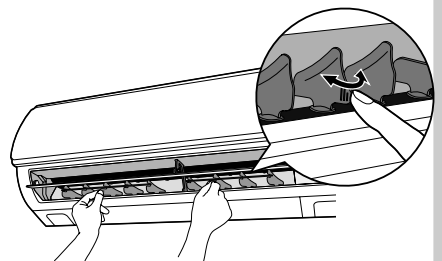
2 お好みの位置で もう一度 風向 ボタンを押す

- 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転すると前回選んだ位置のままでセットされます。ただし、電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いた後、運転した場合、お好みの位置はリセットされます。
- 運転を切り換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
- 風向は図の調節範囲内でお使いください。

上下風向スイング

- 風向 ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。
  再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
  （風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。）

■ **左右の風向―手で操作します。**

- 図のように左右の風向を調整します。

便利な使い方

タイマー予約運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

■ タイマーは切タイマー・入タイマーの2種類の使いかたができます。

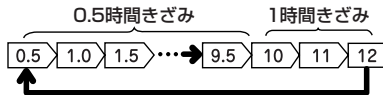
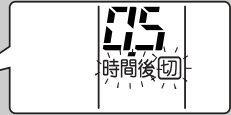
- 切タイマー・入タイマー・おやすみタイマーは同時に予約することはできません。
  涼・快 カラッと除湿 ボタンで運転したときは、切タイマー・入タイマー予約はできません。
- 運転の種類・室温・風速の設定は☞ 9 10 ページをご覧ください。

切 タイマー予約のしかた

■ 設定した時間、運転を行ったあと、運転を停止します。

1 切 時間をセット

1 切 ボタンを押す

- 切 ボタンを押すたびに次のように変わります。

- 押し続けると、早送りになります。

2 予約開始

2 予約/取消 ボタンを押す

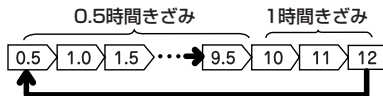
- “ピッ”という受信音がして、切タイマーが予約されます。
- 時間後 切 の点滅が点灯に変わります。

入 タイマー予約のしかた

■ 設定した時間後に運転を開始します。

1 入 時間をセット

1 入 ボタンを押す

- 最初の時間設定は、6時間になっています。
- 入 ボタンを押すたびに次のように変わります。

- 押し続けると、早送りになります。

2 予約開始

2 予約/取消 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、入タイマーが予約されます。
- 時間後 入 の点滅が点灯に変わります。

取消し もう一度 予約/取消 ボタンを押す

- 一度セットした時間はリモコンが記憶していますので、前回と同じ時間を予約したいときは、予約/取消ボタンを押すだけで同じ時間が予約されます。

おやすみタイマー運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 16 17 ページ）

■ 就寝時に適した運転にし、設定した時間（1、2、3、7時間）、運転を行ったあと運転を停止するおやすみ専用の 切 タイマー運転です。

（★表示は、2時間をセットした例です。）

● おやすみ ボタンを押すだけで、1・2・3・7時間の中からお好みの時間が選べます。

● おやすみ ボタンを押すたびに右のように変わります。

● “ピッ”という受信音がして、おやすみ運転を開始します。
● リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間が表示されます。
● おやすみタイマー運転中の風速は、“静”に固定されます。
● 約1時間後、上下風向板がおやすみ位置にセットされます。

取消し おやすみ ボタンまたは 予約/取消 ボタンを押す

お手入れ

⚠ **注意** **お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く（または、ブレーカーを“OFF"にする）**

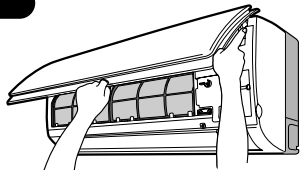
フロントパネルのお手入れのしかた

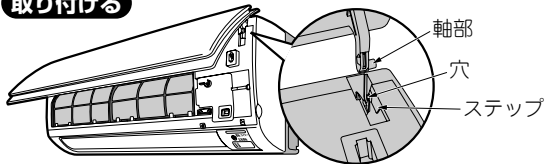
● フロントパネルをはずす。
● 水洗いする。汚れが目立つときは、うすめた中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いしてください。強くこすったり、スポンジやたわしなどで洗わないでください。傷つく恐れがあります。
● やわらかい布で、水分をふき取るか陰干しする。水気が残っていると故障の原因になります。
● フロントパネルを外さないでお手入れする場合は、本体・リモコンともに、やわらかい布でから拭きしてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

⚠ **注意**
● **不安定な台に乗って掃除しない** 転倒などによるケガの原因になります。
● **本体に水をかけない** 感電の原因になります。
● **エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談する**

フロントパネルの着脱のしかた

●フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

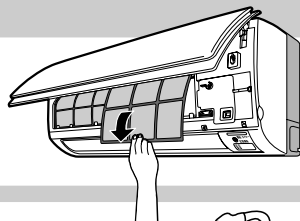
はずす

●両手でパネルを開ききったところで右側アームの奥を内側に押して外したあと、少し閉じながら手前に引いてください。

取り付ける

●**フロントパネルの左右のアームの軸部を、本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。**確実に取り付いていることを確認したのち、フロントパネルを閉じます。

■ 必ずマイクロメッシュ・ステンレスフィルターのお掃除を、電気代の節約にもなります。

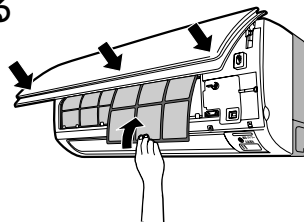
マイクロメッシュ・ステンレスフィルターのお手入れ

1 フロントパネルを止まるところまで開け、マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り出す

（フロントパネルの開閉のしかた ☞ 8ページ）

2 掃除機でホコリを吸い取る

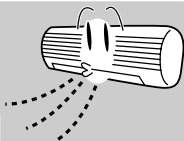
●マイクロメッシュ・ステンレスフィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。
●お手入れするときは、市販のスポンジ（やわらかい面）で行ってください。たわしやブラシでこすると表面の金属膜がはがれてしまいます。

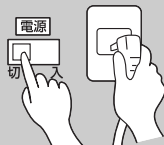
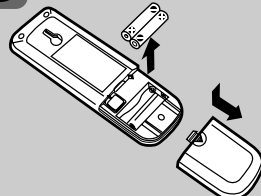
3 マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り付ける

●マイクロメッシュ・ステンレスフィルターは(前)表示のある方を手前にしてツメの内側に取り付けてください。
●マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り付けたあと⬇部を押してフロントパネルを閉じます。
●マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。

⚠注意

●**フロントパネルが、ガタついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。**
●**マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。**機械にホコリが入り、故障の原因になります。
●**マイクロメッシュ・ステンレスフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。**

■ 長期間（1ヵ月以上）使わないときは、次の手順でお手入れを。

1 室内機の内部を乾かす

●クリーン運転をしてください。（☞ 12ページ）
内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

2 電源スイッチを“切”にして、電源プラグを抜く。または、ブレーカーを“OFF”にする

3 リモコンの乾電池を取り出す

上手な使い方

運転のしくみと知っておいていただきたいこと

各部の名称と働き（☛❻❼ページ）

■ 暖房の能力について

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具と併用してください。
- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをおすすめします。（☞⓭ページ）

■ 冷房・カラッと除湿・涼快の能力について

- 室内に冷房能力以上の熱源（多くの人が居る・熱器具を使う）がありますと、“設定温度”に到達しないことがあります。
- 室内に除湿能力以上の熱源及び湿気の侵入、発生がありますと“目標湿度”に到達しないことがあります。

※配管が長いと、冷房・暖房能力が若干低下します。

自動運転（☛❾ページ）

暖　房	●外気温が約20℃以下のとき、暖房運転を行います。設定温度を約23℃前後として運転します。
カラッと除湿	●外気温が約20℃～25℃のとき、「カラッと除湿」運転を行います。 ●23℃～27℃を設定温度として運転します。「カラッと除湿」運転の「かいてき除湿」と同じ運転を行います。
冷　房	●外気温が約25℃以上のとき、冷房運転を行います。設定温度を約27℃前後として運転します。

※上記の外気温の値は、運転の種類を決定する目安ですが、室温によっては多少変化することがあります。
※運転中に室温や外気温が変化しても、運転の種類は切り換わりません。
※「カラッと除湿」の設定になった場合に、お部屋の湿度があまり高くないときは、運転しないことがありますが、これは故障ではありません。

風速自動について

暖　房　時	●吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ●設定温度になると、ごく弱い風になります。
冷　房　時	●運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、“強風”運転します。 ●設定温度に到達すると“弱風”に切り換わります。
カラッと除湿・涼快時	●設定温度を室温より低く設定したときは、“弱風”で、高く設定したときは“微風”になります。

手動運転（☛❿ページ）

- 運転を開始する前のリモコン操作で、風速・室温をセットした後、ボタンを離すと、約10秒後にそれらの表示が消え、運転の種類だけの表示になります。
- 運転中に［運転切換］ボタンを押すと、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の運転ランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。（☞❻ページ）
- 暖房の風速“強”運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速“自動”でお使いになることをおすすめします。
- 風速“微”“静”運転時は、能力が少し低下します。
- カラッと除湿・涼快運転時には、室外ファンが低速運転または停止することがあります。
- 暖房運転の風速“微”“静”では、運転条件によって、風速が変化することがあります。

タイマー予約運転（☞⑬ページ） おやすみタイマー運転（☞⑭ページ）

- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機のタイマーランプで、タイマー予約したことを確認してください。（☞⑥ページ）
- 切 入 タイマー予約中に おやすみ ボタンを押すと、おやすみタイマー運転が優先されます。
- おやすみタイマー予約中は、切 タイマーおよび 入 タイマーが予約できません。

カラッと除湿運転（☞⑪ページ）

運転の種類	このようなときに	運転のしくみ
かいてき除湿	●ジメジメするとき ●冷房のかわりに	●ボタンを押したときの室温をほぼ設定温度とします。 （室温12℃以下は13℃、13℃～22℃は室温+2℃、23℃～27℃は室温、28℃以上は28℃） ●目標湿度は、約50～60%です。目標湿度前後まで下がれば、運転を停止します。上がれば運転を再開します。
快速ランドリー	●洗濯物の乾燥を早めたいとき	●外気温、室温を検知して暖房と除湿の最適な組み合わせを自動的に選んで運転します。 ●洗濯物の乾燥を優先して運転を行います。室温・湿度が一時的に上がりますので、お部屋に人がいないときにお使いください。 ●3時間のタイマーになっています。
けつろ抑制	●冬、窓にできる結露を抑制したいとき	●結露を抑えるため、湿度を下げる運転を最優先しますので、室温は下がります。室温1℃以下になると運転を停止します。 ●2時間のタイマーになっています。
40% 40%除湿	●もう少し湿気を取りたいというとき	●湿度約40%を目標に、強力除湿運転を行います。

※在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定温度を変えても設定温度に到達しないことや、目標湿度にならないことがあります。

- すでに結露した露を除去する効果はありません。（けつろ抑制運転）
- 洗濯物の量や材質によっては、乾きが遅くなる場合があります。（快速ランドリー運転）
- 外気温が低いときに、けつろ抑制運転を行うと、室温が下がりますので注意してください。
- カラッと除湿（かいてき除湿、快速ランドリー、けつろ抑制、除湿40%）運転中は、切 入 タイマー予約（☞⑬ページ）はできません。ただし、かいてき除湿運転、除湿40%運転は おやすみ ボタンを使って、1、2、3、7時間のおやすみタイマーが設定できます。また、快速ランドリーは3時間、けつろ抑制運転は2時間の切タイマー時間があらかじめ設定されていますが、 おやすみ ボタンを押すと、1、2、3、7時間連続運転のいずれかに変えることができます。
- 切 入 タイマーを予約しているときに、カラッと除湿 ボタンを押すと、切 入 タイマーは解除されて、カラッと除湿運転を開始します。
- 除湿しながらお好みの温度に設定したい場合には、手動運転の「カラッと除湿」をおすすめします。（☞⑩ページ）

涼快運転（☞⑪ページ）

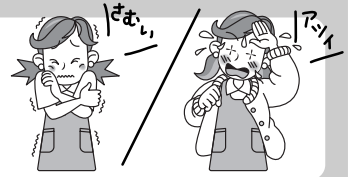
- 設定温度は、室外の温度と室内の温度を検知して、1時間ごとに24℃から28℃の範囲で設定されます。
- 目標湿度は、約50～60%です。目標湿度前後まで下がれば運転を停止します。上がれば運転を再開します。

※在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定温度や目標湿度にならない場合があります。

- 涼・快 ボタンで運転開始した涼快運転中は、切 入 タイマー予約（☞⑬ページ）はできません。
  涼快運転でタイマーを予約したい場合は、手動運転の涼快運転で予約してください。
- 切 入 タイマーを予約しているときに 涼・快 ボタンを押すと、切 入 タイマーは解除されて、涼快運転を開始します。
- 涼快運転では、おやすみ ボタンを使って1、2、3、7時間のおやすみタイマー運転ができます。
- 室温が“設定温度”より低いときは、湿度が“目標湿度”より高くなっても運転しないことがあります。
- 室温を下げたいときや、湿度よりも室温を優先させたい場合は、冷房運転をおすすめします。

上手な使い方

■「適切な室温」が、からだにも家計にもおすすめです。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

■ ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

注意 燃焼器具と同時に使う時は、必ず換気を行う

■ おやすみになるとき、外出するとき、タイマーの有効利用を。

（タイマーの使いかたは ☞ ⓭⓮ページ）

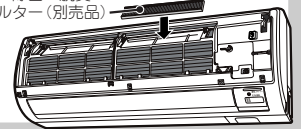
■ 次のものは使わないで！（室外機も同様）

- ベンジン・シンナー・みがき粉・スポンジ・たわしなどは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。
  フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

■ 吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

- 室内・室外機の吸い込み口や吹き出し口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。
  性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

■ ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター（別売）は使い捨てです。

- 2年を目安にお取り換えをおすすめします。
- 取り換え用空清フィルターは必ずナノチタン除菌・脱臭空清フィルター（別売、形名 SP-VCF9）をご使用ください。お買い求めの際は、販売店にご相談ください。（☞ ㉑ページ）

リモコンの点検

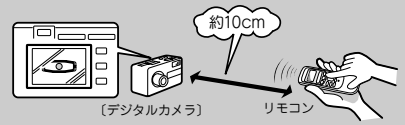
■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

〔AMラジオでの点検〕

リモコンを操作したとき **雑音（ビービー音）** が入れば正常です。

〔カメラ付き携帯電話での点検〕

①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。
②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。

〔デジタルカメラでの点検〕

①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。
②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。

故障かな?と思ったら

サービスを依頼する前に …次のことをお調べください。

症状	確認事項	参照
送信しない 受信しない (リモコンの表示がうすい・表示がでない)	①リモコンが電池切れになっていませんか?	8ページ
	②乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか?	
	③リモコンの信号が受信しづらい場合、照明が影響していませんか? (部屋の照明を消して確認し、影響している場合は、販売店にご相談ください)	
運転しない	①電源スイッチまたは、漏電しゃ断器が“切”になっていませんか?	7ページ
	②電源プラグが差し込まれていますか?	——
	③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか?	——
	④停電ではありませんか?(停電後は運転が停止したままとなります)	——
よく冷えない よく暖まらない	①マイクロメッシュ・ステンレスフィルターにホコリが詰まっていませんか? (フィルターが目詰まりすると機械保護のため運転が停止することがあります)	15ページ
	②“設定室温”のセットは適正になっていますか?	10ページ
	③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか?	12ページ
	④室内·室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか?	——
	⑤風速が“微”“静”になっていませんか?	10 16ページ

これは故障ではありません

現象	説明
においがする	**エアコン自体ににおいを発生させる物質は使用しておりません。室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。**
運転ランプが点滅し、風が止まる	**〈暖房運転開始〉** 暖かい風をお届けする準備をしています。そのままお待ちください。 **〈暖 房 運 転 中〉** 室外機についた霜をとかしています。そのままお待ちください。(☞ 6ページ) **〈運転切換のとき〉** 冷房から暖房に運転を切り換えたときに、保護回路または、予熱センサーが働くためです。
「シュルシュル」「シャー」「ボコボコ」「プシュ」という音	冷媒がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。対応部品を用意してありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。
“停止”にしても運転ランプが点滅し、室外機が動いている	オートフレッシュ除霜(“暖房”を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能)が働いているためです。
設定室温にならない	在室人数や室内、室外の条件によっては、リモコンの設定室温と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。

●以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下のような現象が出たときは、電源プラグを抜き(またはブレーカーを“OFF”にして)、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては20ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部のタイマーランプまたは、除湿ランプが点滅している。
  (点滅回数で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅回数をご確認の上ご連絡ください。)

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保　証　書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間です。
（ただし､冷凍サイクル部分は5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」（☞裏表紙）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

⑲ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて（またはブレーカーを “OFF” にして）から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容
アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　名	日立ルームエアコン
形　名	RAS-DJ22Y RAS-DJ25Y RAS-DJ28Y RAS-DJ36Y RAS-DJ40Y2 RAS-DJ50Y2 形名表示　リモコン形名（電池ふたと電池を外してください。）
お買い上げ日	年　月　日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　－
訪問希望日	

■ **保証期間中は**
修理に際しましては保証書（別添）をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ **修理料金のしくみ**
修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料 などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を室内機の銘板に行っています。

【製造年】（室内機の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

⚠注意　※【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50／60Hz
	冷房室内温度	27 ℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19 ℃）
	冷房室外温度	35 ℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24 ℃）
	暖房室内温度	20 ℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15 ℃）
	暖房室外温度	7 ℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度6 ℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋,南向き和室,居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷房　9時間／日 暖房　7時間／日
	1年間の使用時間	冷房:1,008時間／年 暖房:1,183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

定期点検

■ 半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。
もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

コンセント ●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

⚠警告 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります

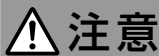
●電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。

アース線 ●アースが確実に行われていますか？

⚠警告 ●アース（接地）が正しく接続されているかを確認する
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

据付台 ●据え付けが不安定になっていませんか？

⚠警告 ●据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する
室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。

点検整備 ●エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

⚠注意 ●通常のお手入れと別に点検整備を行う
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

●通常のお手入れと別に、点検整備をおすすめします。

⚠注意 ●点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

●点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

付属部品・別売部品について

主な付属部品

部品名	個数	備考
リモコン	1	形名：RAR-2V1
リモコン取付具	1	
リモコン取付具固定ねじ	2	
リモコン用乾電池（単4）	2	モニター用電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。

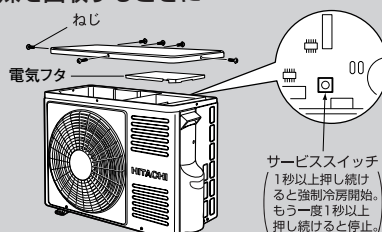
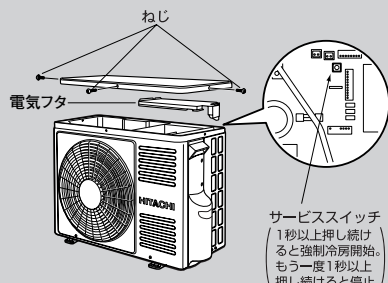
主な別売部品

部品名	形名	備考	希望小売価格
ナノチタン 除菌・脱臭 空清フィルター	SP-VCF9	1セットで約2年間ご使用になれます。（2枚で1セット）	1,575円 税込

●価格は2009年1月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。
●商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

強制冷房運転（販売店で行う操作です。）

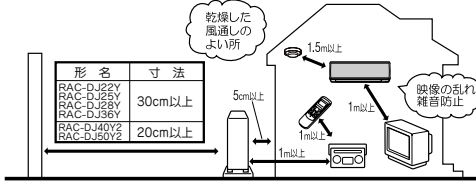
■ 室内機の強制冷房スイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

●強制冷房運転中は、タイマーランプが点滅します。
●サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

⚠注意 ●サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

据え付けについて

⚠警告

- **据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する**
  費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **据付場所については、販売店とよく相談して決める**
- **アース（接地）を確実に行う**　感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。

- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。
- 調理場や機械工場など油の飛沫や油煙の立ちこめる場所工場など電圧変動の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場への設置は避けてください。
- 室内機（吹出口）は火災警報器から、1.5m以上離して据え付けてください。

⚠注意

- **室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない**
  引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
- **特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）には使用しない**
  ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

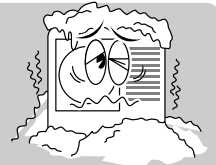
- 電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

⚠警告

- **万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う**
  アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **次のような場所にアース線を接続しない**
  ①水道管
  ②ガス管…爆発のおそれがあります。
  ③電話線のアースや避雷針…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- **漏電しゃ断器を設置する**
  据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法律で義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
  詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

再据付工事のお申し込みは

販売店に再据付工事（転居または別の部屋への接続）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。
費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

形名		室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機
		RAS-DJ22Y	RAC-DJ22Y	RAS-DJ25Y	RAC-DJ25Y	RAS-DJ28Y	RAC-DJ28Y
電源（V）		単相100					
定格周波数（Hz）		50・60共用					
冷房	定格能力（kW）	2.2（0.9～2.9）		2.5（0.9～3.1）		2.8（0.9～3.3）	
冷房	定格消費電力（W）	440（155～980）		490（155～1,080）		590（155～1,195）	
冷房	運転電流（A）	4.9		5.4		6.6	
冷房	運転音（dB）	44	44	45	45	46	46
冷房	冷房面積の目安（m²） 鉄筋アパート南向き洋室	15		17		19	
冷房	冷房面積の目安（m²） 木造南向き和室	10		11		13	
暖房	定格能力（kW）	2.5（0.9～4.6）		3.0（0.9～4.7）		3.6（0.9～4.8）	
暖房	定格消費電力（W）	450（115～1,085）		550（115～1,120）		710（115～1,175）	
暖房	運転電流（A）	5.0		6.1		7.9	
暖房	運転音（dB）	45	45	46	46	47	47
暖房	暖房面積の目安（m²） 鉄筋アパート南向き洋室	11		14		16	
暖房	暖房面積の目安（m²） 木造南向き和室	9		11		13	
通年エネルギー消費効率（APF）		5.1		5.1		5.0	
区分名		A		A		A	
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）		280×780×220	548×750×288	280×780×220	548×750×288	280×780×220	548×750×288
製品質量（kg）		9.5	32	9.5	32	9.5	32

形名		室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機
		RAS-DJ36Y	RAC-DJ36Y	RAS-DJ40Y2	RAC-DJ40Y2	RAS-DJ50Y2	RAC-DJ50Y2
電源（V）		単相100		単相200			
定格周波数（Hz）		50・60共用					
冷房	定格能力（kW）	3.6（0.9～4.0）		4.0（0.9～4.5）		5.0（0.9～5.5）	
冷房	定格消費電力（W）	1,035（155～1,200）		1,075（155～1,300）		1,920（155～2,200）	
冷房	運転電流（A）	11.5		6.0		10.7	
冷房	運転音（dB）	46	47	47	49	48	50
冷房	冷房面積の目安（m²） 鉄筋アパート南向き洋室	25		28		34	
冷房	冷房面積の目安（m²） 木造南向き和室	16		18		23	
暖房	定格能力（kW）	4.2（0.9～5.1）		5.6（0.9～7.9）		6.0（0.9～8.3）	
暖房	定格消費電力（W）	960（115～1,180）		1,565（115～2,395）		1,605（115～2,710）	
暖房	運転電流（A）	10.7		8.7		8.9	
暖房	運転音（dB）	47	48	47	50	47	50
暖房	暖房面積の目安（m²） 鉄筋アパート南向き洋室	19		25		27	
暖房	暖房面積の目安（m²） 木造南向き和室	15		20		22	
通年エネルギー消費効率（APF）		4.5		4.4		4.2	
区分名		C		C		－	
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）		280×780×220	548×750×288	280×780×220	600×792×299	280×780×220	600×792×299
製品質量（kg）		9.5	32	9.5	42	9.5	42

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
- 運転停止中の消費電力は、全て1Wです。（電源スイッチまたはブレーカーOFF時は0W）
- （　）内は能力、消費電力の可変幅を表示しています。
- 区分名とは、家庭用品品質表示法にもとづく表示です。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間） 9:00～19:00（365日）

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

（受付時間） 9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日･祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことはありませんか

- ●こげ臭いにおいがする。
  電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●運転音が異常に高くなる。
- ●室内機から水漏れがする。
- ●漏電しゃ断器が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
　2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	形名	
購入店名	電話　（　　）		

RAS-DJ22Y形･RAS-DJ36Y形
RAS-DJ25Y形･RAS-DJ40Y2形
RAS-DJ28Y形･RAS-DJ50Y2形

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

RAS-DJ22Y・RAS-DJ36Y
RAS-DJ25Y・RAS-DJ40Y2 Ⓐ
RAS-DJ28Y・RAS-DJ50Y2

HITACHI
日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。

室内機		室外機
RAS-DJ22Y形	+	RAC-DJ22Y形
RAS-DJ25Y形	+	RAC-DJ25Y形
RAS-DJ28Y形	+	RAC-DJ28Y形
RAS-DJ36Y形	+	RAC-DJ36Y形
RAS-DJ40Y2形	+	RAC-DJ40Y2形
RAS-DJ50Y2形	+	RAC-DJ50Y2形

据付情報
- ドレンホースがねじ止めになりました。
- 下カバー左が取り外し可能になりました。

据付工事に必要な工具（◉印はR410A専用工具）

● ⊕⊖ドライバー ●巻き尺 ●ナイフ ●ペンチ
●パイプカッター ●六角棒スパナ(呼4) ●Pカッター
●Φ65mmホールコアドリル ●真空ポンプ
●スパナまたはモンキーレンチ ●トルクレンチ
◉ポンプアダプタ ◉フレアリングツール ◉ガス漏れ検知器
◉マニホールドバルブ ◉チャージホース

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告……この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意……この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存頂くように依頼してください。

⚠警告

- **据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する**
  ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

- **据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う**
  据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

- **据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う**
  強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下により、けがの原因になります。

- **電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**
  電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災などの原因になります。

- **接続ケーブルの配線は、途中接続やより線の使用はせず所定のケーブルを使用して確実に接続する**
  端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
  接続や固定が不安定な場合は、故障や火災の原因になります。

- **設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品(別売部品等)を使用する**
  当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下・水漏れ・感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。

- **エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない**
  空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。

- **配管・フレアナットは、必ずR410A指定のものを使用する**
  破裂やけがなどの原因になります。

- **フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付ける**
  フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

- **作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う**
  冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

- **設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
  冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

⚠警告

- **アース（接地）を確実に行う**
  アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない
  アースが不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。

- **据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける**
  冷媒配管が取り付けられておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・けがなどの原因になります。

- **冷媒回収（ポンプダウン）作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する**
  圧縮機を運転したまま、サービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・けがなどの原因になります。

- **電源コードの加工・途中接続・タコ足配線はしない**
  接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、火災や感電の原因になります。

- **接続ケーブルの配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける**
  カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

- **電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込む**
  ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電、火災の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。

⚠注意

- **設置場所によっては漏電しゃ断器を取り付ける**
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない**
  万一ガスが漏れて室内外機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

- **排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う**
  不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になることがあります。

据付場所の選定

（下記の点に注意し、お客さまの同意を得て据え付けてください。）

室内機

⚠警告

●本体を十分ささえられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

⚠注意

●近くに熱の発生がなく、吹出口付近をふさがないところ
●本体の上・左・右に下図の⇔印の間隔をあけられるところ
●ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができるところ
●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生しないところ
引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
●室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
画像の乱れや雑音が入ることがあります。
●高周波機器、高出力の無線機器などからはできるだけ離す
エアコンが誤動作する場合があります。
●電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります

室内機（吹出口）を火災警報器から、1.5m以上離して据え付けてください。

室外機

⚠警告

●室外機の重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところに据え付ける

⚠注意

●雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ
●吹き出した風が直接動物や植物にあたらないところ
●本体の上・左・右・前・後に下図の⇔印の間隔をあけられ、2面以上開放できるところ
●吹き出した風や騒音がご近所のめいわくにならないところ
●強風の当たらない場所
特にビルの屋上では、風が強く室外ファンが破損することがあります。
●室外機をベランダの手すりに近寄せて設置しない
高層階などのベランダに設置される場合、お子様が室外機の上に乗り、手すりを乗り越え、落下事故につながるおそれがあります。
●可燃性ガスの漏れるおそれのないところや、蒸気や油煙などの発生しないところ
●排出されたドレン水が流れても問題のないところ
●室外機およびFケーブルはテレビ・ラジオ・インターホン・電話などのアンテナ線や信号線・電源コードなどから1m以上離す
ノイズで影響をおよぼす場合があります。
●室外機は、小動物のすみかになるような場所には設置しない
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

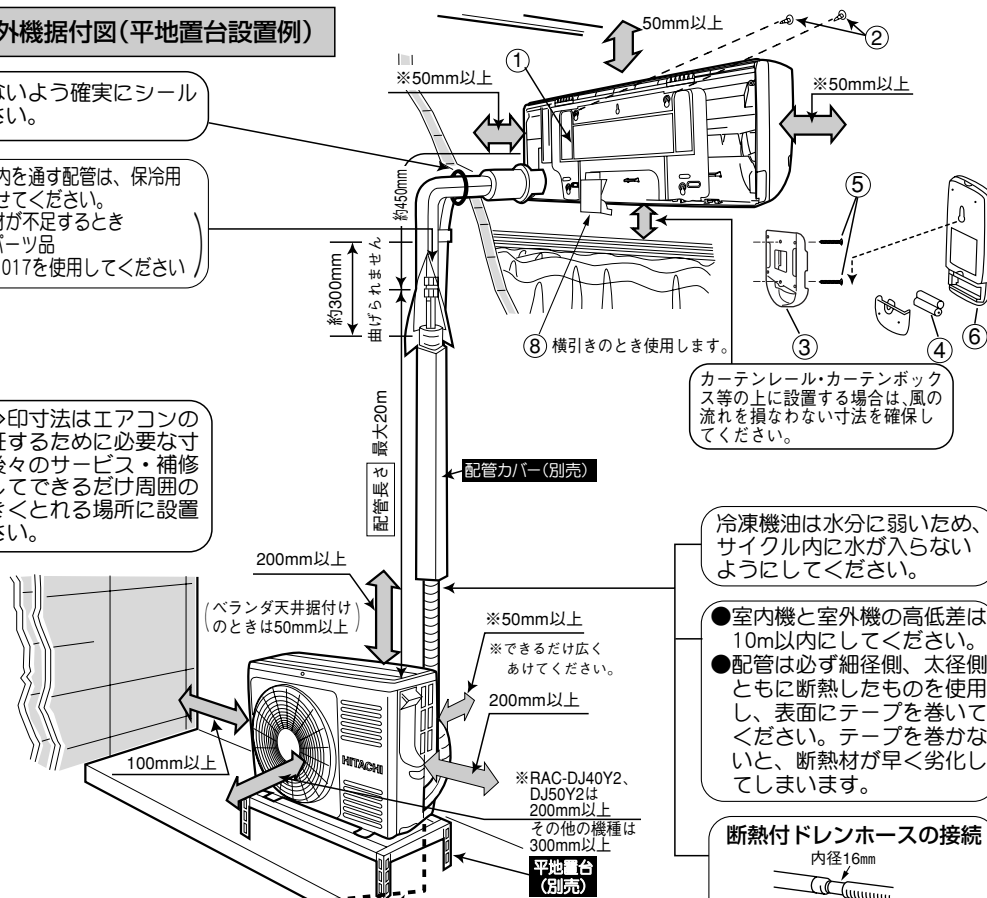
番号	付属部品	員数
①	据付板	1
②	据付板固定ねじ（4×25）	5
③	リモコン取付具	1
④	乾電池（単4）	2

番号	付属部品	員数
⑤	リモコン取付具固定ねじ	2
⑥	リモコン	1
⑦	電源スイッチ固定板	1
⑧	配管押さえ	1

番号	付属部品	員数
⑨	保冷用断熱材	1
⑩	ブッシュ	※※1
⑪	ドレンパイプ	1

※⑩⑪は室外機に同梱。
※※RAC-DJ40Y2・DJ50Y2には2個同梱しています。

室内・室外機据付図（平地置台設置例）

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム（別売部品）を入れてください。

アース棒	長さ
SP-EB-1	450mm
SP-EB-2	900mm（D種接地工事推奨品）

電源コードの長さ

RAC－DJ22Y・DJ25Y DJ28Y・DJ36Y

電源コードは絶対に改造しないでください。

RAC－DJ40Y2・DJ50Y2

電源コードは絶対に改造しないでください。

配管引出し方向

配管は後直引き、左および右下引き、左および右横引きの6方向に可能です。

室外機の固定足寸法

RAC－DJ22Y・DJ25Y DJ28Y・DJ36Y

RAC－DJ40Y2・DJ50Y2

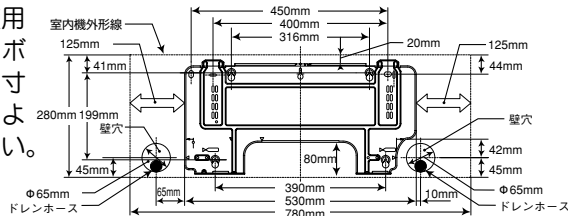
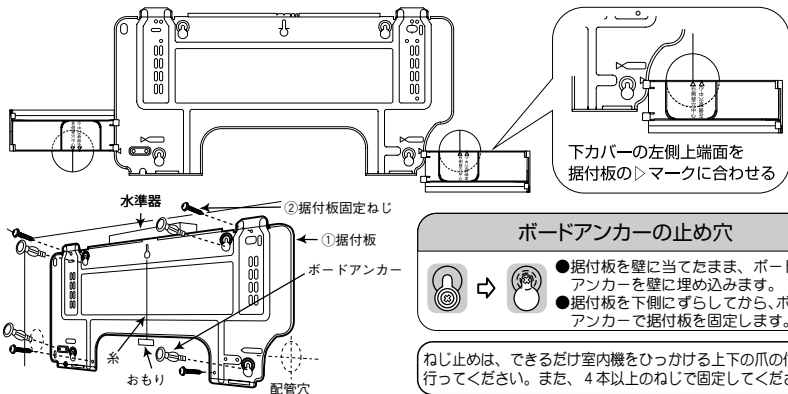
室内機の据え付け

1 据付板の取り付け・壁穴あけ・保護パイプの取り付け

注意

●本室内機はドレンホースを左右どちらにも取り付けられる構造となっています。室内機を据え付ける際は、必ず水平または、ドレンホースを取り付ける側を若干下に傾けて据付板を固定する
ドレンホースを取り付ける側を上方に傾けて据え付けた場合、水漏れとなる恐れがありますのでご注意ください。

壁に直付する場合

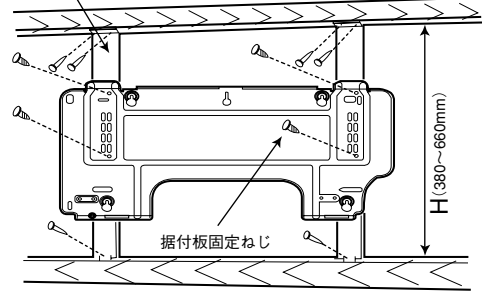
●壁内の構造体(間柱など)をさがして、据付板を固定します。
●間柱などをさがすのが困難なときは、ボードアンカー(市販品)等をご使用ください。
●公団アパート用穴を使用する場合は、アンカーボルトの壁からの出張り寸法が15mm以下になるようにカットしてください。

●壁穴は据付板に下カバーを当てることにより、位置を決めることができます。

ボードアンカーの止め穴

●据付板を壁に当てたまま、ボードアンカーを壁に埋め込みます。
●据付板を下側にずらしてから、ボードアンカーで据付板を固定します。

ねじ止めは、できるだけ室内機をひっかける上下の爪の付近で行ってください。また、4本以上のねじで固定してください。

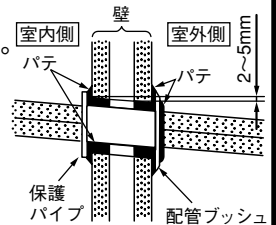
回り縁と鴨居に据え付ける場合

●回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、据付板とたてさん上下を仮組みします。
●回り縁と鴨居を利用してたてさん上下を仮止めします。
●水平を確認してから固定します。

たてさんは別売です
(形名：SP-BT-2)

壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

警告

●**保護パイプ(市販品)は必ず使用する**
接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電や火災の原因となります。
●**パテで完全にシールする**
壁内や室外の高湿空気が室内に侵入し露たれの原因になります。
また壁内や室外の臭いが室内に侵入する原因となります。

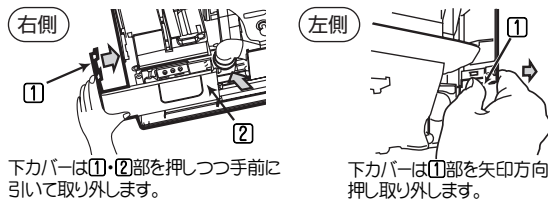
●Φ65mmの穴を外側に下がりぎみにあけます。
●保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
●雨水や外気の侵入等がないようパテで完全にシールして配管ブッシュを付けます。

2 室内機の据え付け

1 据え付けの準備

下カバーの取り外し

●下カバーの取り外しのしかたは、左右で異なります。

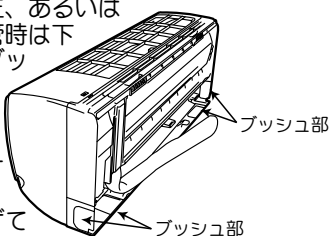
下カバーは1・2部を押しつつ手前に引いて取り外します。

下カバーは1部を矢印方向に押し取り外します。

注意

●**ドレンホースとドレンキャップは確実に挿入する**
挿入が悪いと水漏れの恐れがあります。
●**左側にドレンホースを付け替える場合は、周囲の部品に注意してください**

下カバーブッシュ部の切断 (横引き、下引きの場合)

●右または左、あるいは下引き配管時は下カバーのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

ブッシュ部
ブッシュ部

ドレンホースの付け替え (横引きの場合)

●付け替えは、下カバーをはずして行います。
●横引き配管時はドレンホースとドレンキャップを下図のように付け替えてください。
●ドレンホースの横引き配管は行わないでください。

ドレンキャップ　ドレンホース

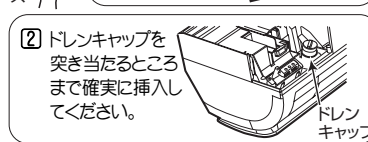
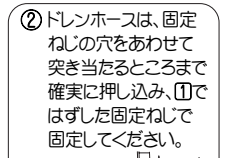
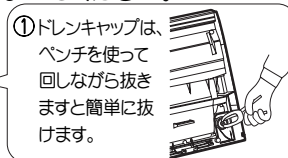
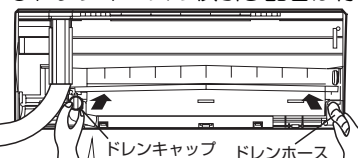
①ドレンキャップは、ペンチを使って回しながら抜きますと簡単に抜けます。

②ドレンホースは、固定ねじの穴をあわせて突き当たるところまで確実に押し込み、1ではずした固定ねじで固定してください。

ドレンホース固定ねじ

1 ドレンホースは、固定ねじをはずして、抜きます。

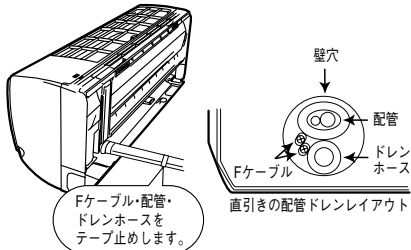
2 ドレンキャップを突き当たるところまで確実に挿入してください。

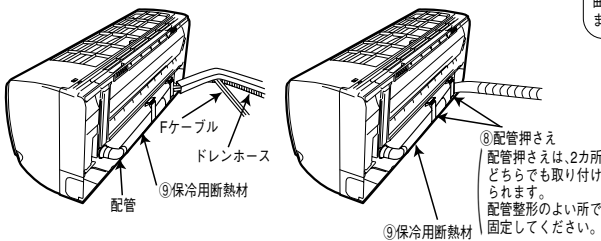
〈印刷記号：YS-11 Ⓐ〉

室内機の据え付け（つづき）

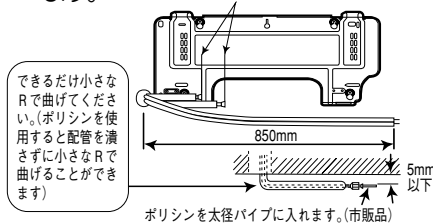
配管の準備

（裏面の配管の切断とフレア加工および配管の接続を参照）

直引き・下引きの場合

●Fケーブルを接続します。
（裏面のFケーブルの接続方法を参照）
●配管を整形し、Fケーブル・ドレンホースとテープで仮止めします。

配管を接続してから据え付ける場合（横引きの場合）

●Fケーブルを接続します。
（裏面のFケーブルの接続方法を参照）
●冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形し接続します。
●配管接続部は断熱材の割りを上にして隙間のないようにテープ巻きします。
テープは締め過ぎないように巻きます。
●Fケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め、配管押さえで固定します。

室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

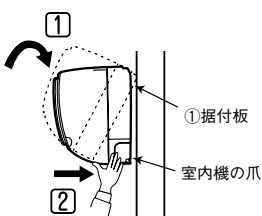
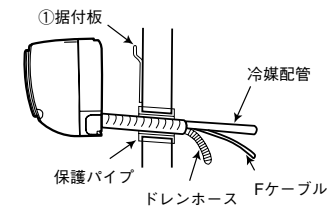
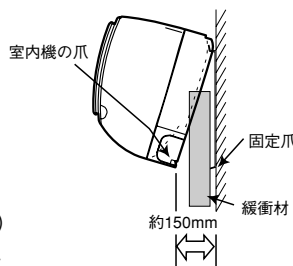
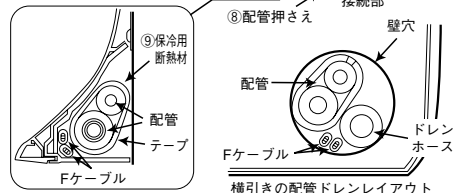
●冷媒配管とFケーブルを整形しセットします。

⚠注意

●ポリシンを使用する場合は削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入すること

② 据え付け

室内機の背面以外で冷媒配管を接続する場合

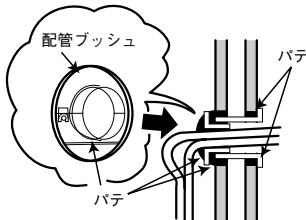
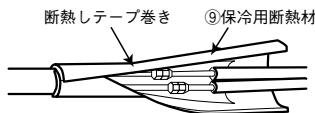
●壁穴に配管を通します。
1 室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
2 室内機下部を壁に押しつけ、室内機の爪を据付板にはめこみます。

室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

室内機を据付板に引っ掛けます。
室内機背面右側に緩衝材または、ダンボールなどをはさみこみ、室内機の下部を手前に150mmぐらい浮かします。
●ドレンホースを壁穴に挿入します。
●冷媒配管を接続します。（裏面の配管の接続を参照）
●配管接続部は断熱材の割りを上にして隙間のないようにテープ巻きします。
●Fケーブルを接続します。（裏面のFケーブルの接続方法を参照）
●Fケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め、配管押さえで固定します。
●はさんだ物を外し、室内機下部を据付板の固定爪にはめこみます。

⚠注意

●配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎないこと
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。
●室内機の下部を手前に引っ張って据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認する
はめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。
●配管整形時には、配管押さえの下端部を手で押さえながら、整形してください

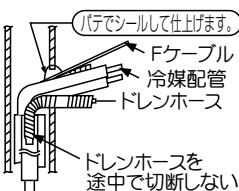
③ 配管の断熱と仕上げ

●配管接続部は断熱材で覆い、隙間のないようテープ巻きします。
●テープは締め過ぎないように巻きます。隙間があったり締め過ぎたりすると露たれの原因になります。
●配管・Fケーブル等をテープ巻きし、壁に固定します。
●ドレンホースや配管が押入れや廊下など屋内を通る場合は、露付き防止のため保冷用断熱材（サービスパーツ品RAS-228FX 017）で覆い断熱の強化をしてください。

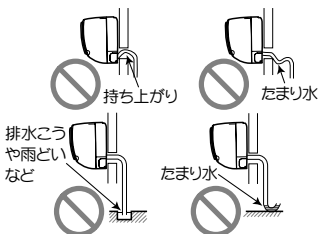
●壁穴部と、配管ブッシュ・配管のすき間を［配管カバー（市販品）を使用した場合も］パテにて完全にシールしてください。シールが完全でないと壁内や室外の高湿空気が侵入し、露たれの原因になります。また、壁内や室外の臭いが室内に侵入する原因になります。

④ 排水の確認

室内機の据え付け終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。
（確認を怠ると水垂れの恐れがあります）

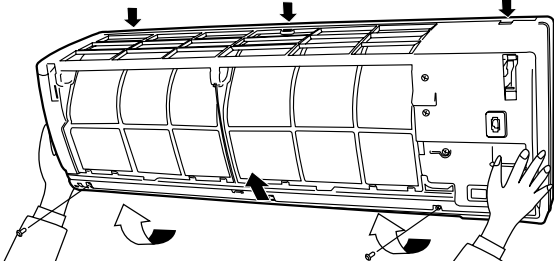
据付終了後ドレンホースの抜けやたるみのないことを確認してください。

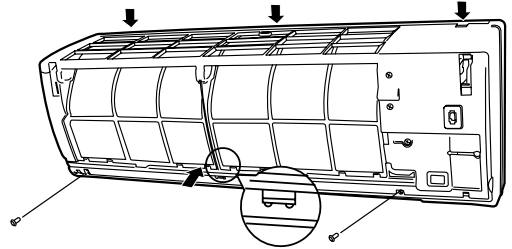
気密性の高い住宅等で換気扇を使用したときなどに、ドレン管付近からゴボゴボと音が発生する場合があります。そのような場合、ドレンタンク（サービスパーツ品 RAS-2810KX500）を使用してください。

室内機のドレンホースは、室外機のバルブカバーへ導かないでください。
使用条件により、バルブカバーより水垂れの恐れがあります。

⚠注意

●ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う
確認を怠ると、水垂れとなることがあります。
●左図のような不具合がないことを確認する
ドレン詰まりをおこし、水垂れとなります。
●ドレンホースは1/25以上の勾配をとること
●埋込配管などでドレンホースをドレン配管に挿入する場合、ドレンホースを途中で切断しない
ドレンホースの断熱性能が低下し、水垂れとなることがあります。
（左図を参照）
●浄化槽など、臭気ガスが発生する場所にドレンホースを導かない
臭気ガスが逆流し、室内の異臭の原因や、銅配管を腐食させることがあります。

室内機の据え付け（つづき）

化粧カバーの外しかた

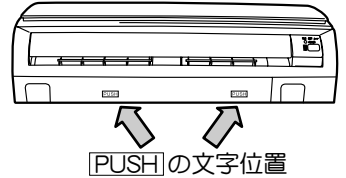
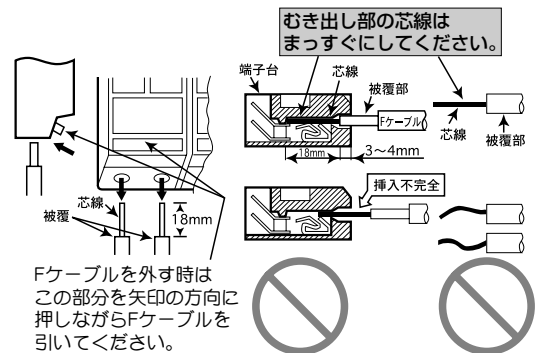
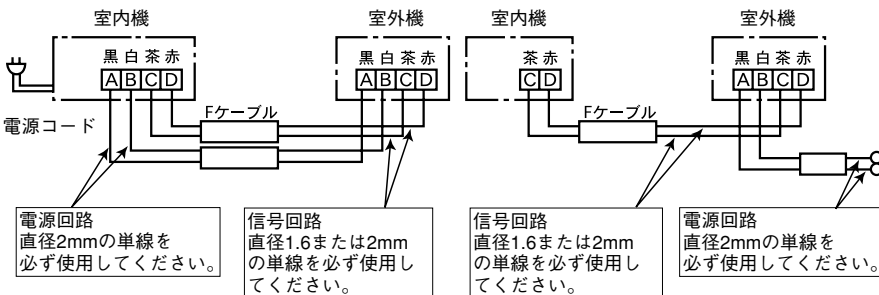
1 フロントパネルを取り外します。
（取扱説明書P.15を参照してください）
●フロントパネルの着脱は、必ず両手で行ってください。
2 フィルターを取り外します。
（フィルターを外さないと化粧カバーが外れません）
（取扱説明書P.15を参照してください）
3 ねじ2本を外した後、化粧カバーの中央部を手前に引き爪を外します。
4 上面の爪（3ヵ所）を外し、化粧カバーを図のように側面（下側）を手前に引いて外します。

化粧カバーの取り付けかた

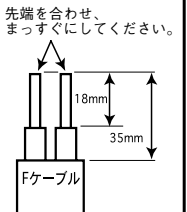
①露皿が確実に取り付けられていることを確認します。
②化粧カバーを本体にはめ込んだあと上面の爪（3ヵ所）を確実にはめ込みます。また中央部を押して、爪を固定します。
③ねじ2本を締め付けます。
④フィルターを取り付けます。
（取扱説明書P.15を参照してください）
⑤フロントパネルの左右アームの軸部を本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。確実に取り付いていることを確認したのち、フロントパネルを閉じます。
（取扱説明書P.15を参照してください）

5 Fケーブルの接続方法

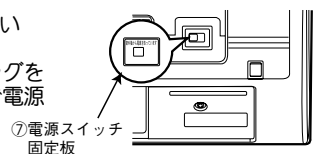
室内機から電源を取る場合も、室外機から電源を取る場合も、電源は単相100Vまたは単相200Vを使用してください。

型　式	RAS-DJ22Y•DJ25Y•DJ28Y•DJ36Y	RAS-DJ40Y2•DJ50Y2
電　源	単相100V	単相200V

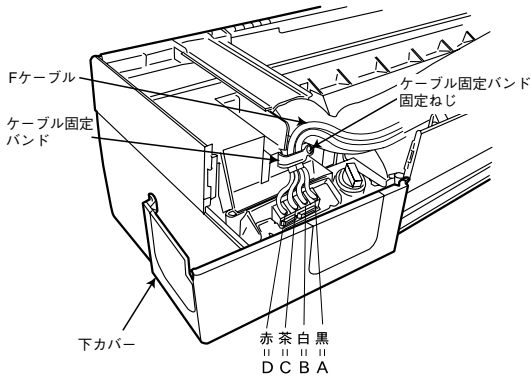
室内機の外しかた

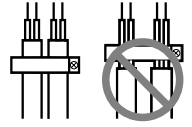
●室内機底面にある PUSH の部分を押し上げながら手前に引くと、爪が据付板より外れます。（右図矢印部2カ所）

室内機から電源を取る場合　室外機から電源を取る場合

⚠警告

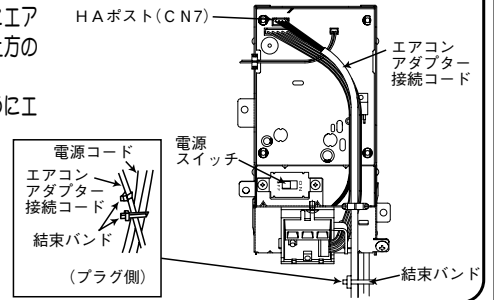
●**Fケーブルは、必ず単線を使用する**
より線を使用しますと、端子台が焼損することがあります。
●**Fケーブルを途中で接続しない**
接続部が過熱し、発煙・発火することがあります。
●**Fケーブルの芯線は18㎜（最小でも17㎜、最大でも21㎜）むき出し、被覆が3～4㎜かくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する**
挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。また、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、端子台が焼損することがあります。
●**Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする**
●**分岐回路はエアコン専用の回路にする**
●**Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う**
●**コンセントは必ず抜いて作業を行う**
室内機から電源を取る場合、電源スイッチが入っていると、FケーブルのＡＢ端子間には常時100Vまたは200Vが印加されています。
●**室外機から電源を取る場合、室内機の電源スイッチを「切」にしても、電源はOFFされないため、そのときはブレーカーを切る**

室外機から電源を取る場合

●電源スイッチでは電源をOFFできません。スイッチを「切」の状態にし、電源スイッチ固定板を取り付け、動かないようにしてください。
●電源コードは不要ですので、据付時に室内機背面の下部スペースに納めてください。なお、移設などで電源プラグを再使用するときに、ホコリの付着や汚れなどを防ぐため、据え付け部材のねじを収納しているビニール袋などで電源プラグを包み、テープ止めしたうえで収納してください。
●室内機ＡＢ端子は接続不要です。

室内機の据え付け（つづき）

室内機の接続方法

●Fケーブルを接続するときは下カバーを外して行います。

⚠警告

●Fケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める
●ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。

ＨＡシステムと接続するとき

●化粧カバー、電気品フタを外して、右図のようにエアコンアダプター接続コードを引きまわし、基板上方のＨＡ用ポストに確実に挿入してください。
●電気品箱の電源コードの出口付近で、右図のようにエアコンアダプター接続コードの抜け止めをした後、接続コードと電源コードを結束バンドで縛ります。
●配線終了後、元通りにふたをしてください。
●詳しくはＨＡ機器に付属の取扱説明書と合わせて、よくお読みください。

室外機の据え付け

●振動や騒音が増大しないようにしっかりした場所に設置してください。
●配管類を、おおよそ整形して位置を決めてください。
●側面カバーは取っ手を持ち、下方へずらして端部のフックを外してから引いてください。
取り付けるときは、逆の手順で行います。

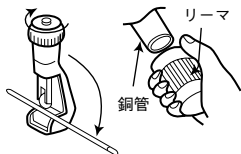
⚠注意

●室外機の吸い込み口や底面・アルミフィンにさわらない
ケガの原因になります。

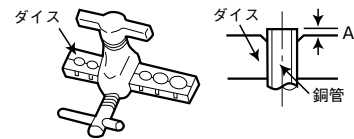
※側面カバーの取付ねじはRAC-DJ40Y2・DJ50Y2は2本、その他の機種は1本になります。

暖房効果を良くするために、雪の多い地方では風通しを妨げないように別売の風雪ガードや高置台を設けてください。
その他の地方では日除けとして別売のテントの取り付けをおすすめします。

① 配管の切断とフレア加工

●パイプカッターで切断し、バリ取りを行います。

⚠注意

●バリ取りをする
バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。
●切粉が銅管内に入らないように、バリ取り時には銅管を下向きにする

●フレアナット挿入後フレア加工をしてください。

冷媒配管 ●市販の材料を使用する場合は、次のことを守ってください。

	φ6.35（1/4インチ）	φ9.52（3/8インチ）
肉厚	0.8mm	0.8mm
材料及び規格	リン脱酸銅　C1220T JISH3300（付着油量：40mg/10m以下）	
断熱材	● 耐熱発泡ポリエチレン　比重0.045 肉厚8mm以上 ● 接続配管は1本毎に各々断熱してください	

薄肉管（肉厚：0.7mmなど）は、使用しないでください。

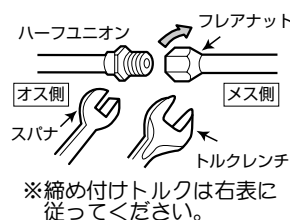
※Ｒ410Ａ用専用工具の使用を推奨します。

外径（φ）	Ａ（mm）〔リジット〕	
	Ｒ410Ａ用専用工具の場合	Ｒ22用専用工具の場合
6.35（1/4インチ）	0～0.5	1.0
9.52（3/8インチ）	0～0.5	1.0

② 配管の接続

⚠注意

●室内機の配管のフレアナットを外す場合は、細径側パイプを先に外す
太径側から外すとフレア部のシールキャップが飛ぶことがあります。
●接続時は水分が入らないようにする
●フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける
フレアナットを締め付け過ぎると長期経過後、フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

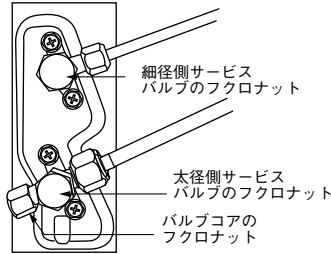
●曲げ加工は配管をつぶさないようにしてください。
●接続部に冷凍機油を塗り、中心を合わせフレアナットを手で十分締め付けた後、トルクレンチ（スパナ）で確実に締め付けます。

※締め付けトルクは右表に従ってください。

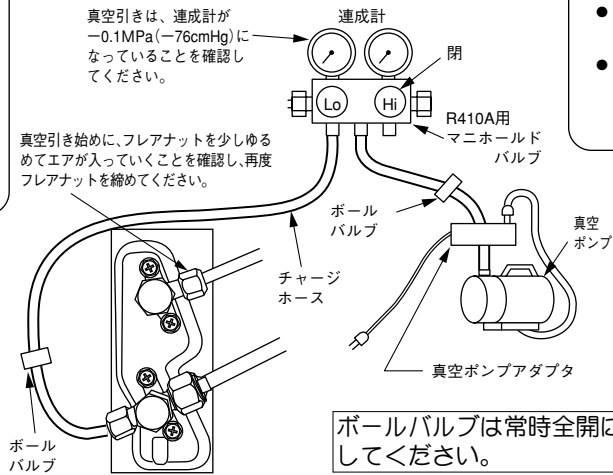
	パイプ外径（φ）	トルクN・m{kgf・cm}
細径側	6.35（1/4インチ）	13.7～18.6{140～190}
太径側	9.52（3/8インチ）	34.3～44.1{350～450}
フクロナット		19.6～24.5{200～250}
バルブコアのフクロナット		12.3～15.7{125～160}

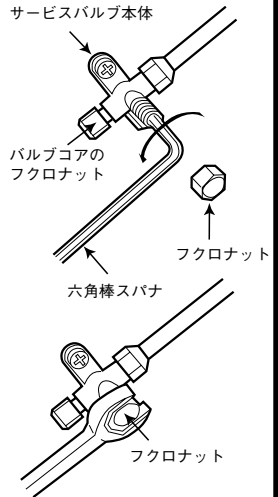
室外機の据え付け（つづき）

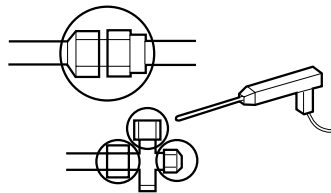
③ エアパージおよびガス漏れ検査

地球環境保護の立場から、エアパージは真空引きポンプ方式でお願いします。

❶
- サービスバルブのフクロナットを外します。
- バルブコアのフクロナットを外し、チャージホースを接続します。
- 真空ポンプにポンプアダプタを接続し、アダプタにチャージホースを接続します。

❷
- マニホールドバルブのハンドルＨｉを閉じ、Ｌｏを全開にして、真空ポンプを運転（アダプタ電源ＯＮ）します。
- 真空引きを１０～１５分間行った後、ハンドルＬｏを全閉し、真空ポンプの運転を止めます。（アダプタ電源ＯＦＦ）

ボールバルブは常時全開にしてください。

❸
- 細径サービスバルブのスピンドルを1/4回転ゆるめ、5～6秒後すばやく締めます。このときに、接続部のガス漏れ検査を行ってください。
- サービスバルブのチャージホースを外します。

❹
- 両方のサービスバルブのスピンドルを反時計方向に軽く当るまで回し、冷媒通路を開けます。（力いっぱい回す必要はありません）
- フクロナットを元通り締め付けます。
- 最後に、ガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。

ガス漏れ検査

右図の部分をガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れがないことを確認します。漏れのある場合は、増締めするなどして、防止してください。
（Ｒ410Ａ用検知器をご使用ください）

移設時または、取り外し時の作業方法について

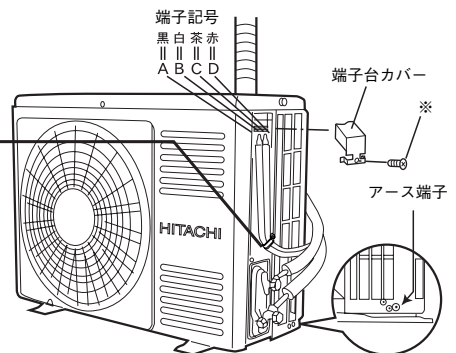
地球環境保護の立場から、移設時または取り外し時には冷媒の回収（ポンプダウン）を行ってください。
①強制冷房運転（仕上げの項参照）で5分間程度の予備運転を行います。
②細径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して締めます。
③そのまま強制冷房運転を1～2分間行った後、太径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して締めます。
④強制冷房運転を停止します。

④ Fケーブル接続方法

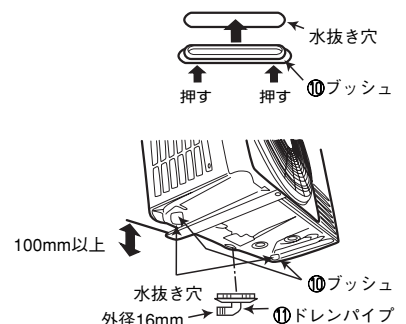
●側面カバー・端子台カバーを外して行います。

※RAC-DJ40Y2・DJ50Y2は端子台カバーをねじで固定します。

⚠ 警告

●必ずバンドで固定する
固定しないと雨水が電気品に入り感電の原因となります。

⑤ 室外凝縮水処理

●室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう穴があいています。
●凝縮水を排水口などに導くときは、平地置台（別売）やブロックなどに載せ地面より100mm以上上げて据え付け、図のようにドレンパイプを接続してください。水抜き穴(RAC-DJ40Y2・DJ50Y2は2ヵ所、その他の機種は1ヵ所)は、ブッシュでふさいでください。ブッシュの取り付けは、図のように水抜き穴に合わせて、ブッシュの両端を押してはめ込んでください。
●ドレンパイプを接続する場合は、ブッシュがベースから浮いたり、ずれていないことを確認してください。
●室外機は水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。

●寒冷地でご使用の場合
特に寒冷地等で寒さが厳しく積雪等が多いと、熱交換器から出る水がベース表面に凍結し、排水が悪くなることがあります。
このような地域では、ブッシュ・ドレンパイプは取り付けないでください。水抜き穴と地面との距離を250mm以上確保してください。

仕　上　げ

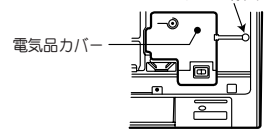
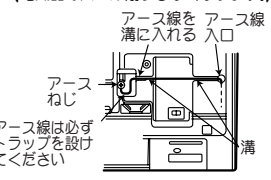
① アースと漏電しゃ断器

このエアコンは必ずアース工事をしてください。

アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って実施してください。万一の感電事故を防止するほかに、製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ・ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

●接地の基準

接地の基準はエアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件 ＼ エアコンの種類 ＼ エアコン設置場所		水気のある場所に設置する場合	湿気のある場所に設置する場合	乾燥した場所に設置する場合
対地電圧が150V以下の場合	100Vの機種(含単相3線式200Vの機種)		D種接地工事が必要です。(注ⓐ)	D種接地工事は法的には除外されていますが安全のため接地工事をしてください。
対地電圧が150Vを越える場合	3相200Vの機種(含単相2線式200Vの機種)	漏電しゃ断器を取り付けさらにD種接地工事が必要です。(注ⓐ)		

D種接地工事について（注ⓐ）

- 接地工事は電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。

⚠ 警告

●アース線は、次のようなところに接続しない
(1)水道管 (2)ガス管…引火や爆発の危険があります。
(3)避雷針・電話のアース線…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

●室外機または室内機のどちらか一方から必ずアースを行う
アース端子は室外機のベース側面(サービスバルブ側)に付いています。また、室内機からアースを取る場合は、右図の順序で接続してください。単相200V機種の場合は、アース付きタンデムコンセントを調達のうえアース工事をしてください。室外機のベース側面(サービスバルブ側)のアース端子にアースを接続してください。

●室内機からアース(接地)を行う場合は、直径1.6mmの単線(軟銅線)を使用し、確実に固定する
より線を使用しますと、凝縮水がアース線から入り、水垂れの原因となります。

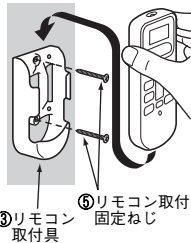
室内機にアースを付ける場合

1. フロントパネルを外します。
（取扱説明書P.15を参照してください。）
2. 化粧カバーの電気品カバーを外します。

3. アース線を化粧カバー右側のアース線入口に通します。
4. アース線をアースねじで固定します。
（アース線は、必ずトラップを設けてください。）
5. アース線を化粧カバーの溝に入れます。
（正確に溝に入れてください。電気品カバーが閉まらなくなります。）

6. 電気品カバーを取り付けます。
7. フロントパネルを取り付けます。
（取扱説明書P.15を参照してください。）

② リモコンの固定

- ●リモコンはリモコン取付具で壁や柱に固定することができます。
- ●リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときは信号がエアコンに確実に受信されることを確認してください。なお、蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。
- ●電子点灯形の照明がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては、信号を受け付けないことがあります。
- ●一部屋にエアコンを2台設置したとき、リモコンの混信を防ぎたいときは、取扱説明書に記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

③ 電源と試運転およびチェック

電　源

⚠ 警告

- ●電源プラグの改造や電源コードの延長は、絶対にしない
- ●電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにする
- ●電源コードはステップルなどで固定しない
- ●電源コードは熱を発生しやすいため、針金やビニタイなどでまとめない

⚠ 注意

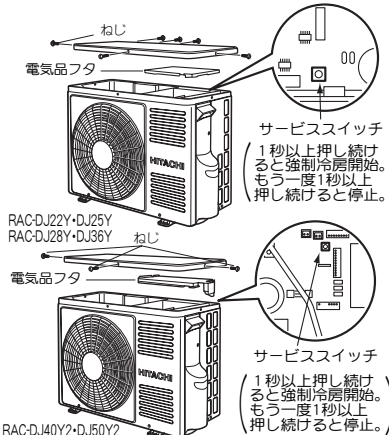
- ●コンセントは新しいものを使用する
古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故につながる場合があります
- ●電源プラグを差し込むときは2～3回抜き差しを行い、なじませてから完全に差し込む

試運転

- ●試運転を行いエアコンが正常に運転することを確認してください。
（運転開始時に圧縮機の予備運転を行うため2～5分間風が出ないことがあります）
- ●取扱説明書の手順で操作について「お客様」に説明してください。
- ●室内機が動かない場合は、Fケーブルの誤接続がないか確認してください。
- ●取り付けた部屋の照明を点灯させてリモコンが正常に動作することを確認してください。

強制冷房運転

- ●室外機のサービススイッチを1秒以上押すと、強制冷房運転になります。故障診断や、室外機に冷媒を回収するときに使用してください。
- ●強制冷房運転中はタイマーランプが点滅します。

サービススイッチ運転での作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて強制冷房運転を止めてください。

据え付けチェック

- ●右の「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。

⚠ 注意

- ●サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

キ…リ…ト…リ

お客様氏名	様		
(電話番号)	(　　)		
お客様住所			
機　種　名		製造番号	
据付年月日		据付担当者	

ルームエアコン据付点検カード

（点検済みの項目の□の中に✓印を記入してください。）

- ☐ 配管はR410A用を使用しましたか
- ☐ 真空引きを行いましたか
- ☐ 輸送部品は、外しましたか
- ☐ 配管接続部のガス漏れはありませんか
- ☐ 接続ケーブルの接続は正しく確実ですか
- ☐ 除湿水は漏れずに、よく排水しますか
- ☐ 露受皿に除湿水がたまらないような傾斜で据え付けられていますか
- ☐ 配管接続部の断熱はしましたか
- ☐ 据付強度はじゅうぶんですか
- ☐ 化粧カバー（フロントパネル・上下風向板）は確実に取り付けてあり、落下の危険はありませんか
- ☐ アースは正しくしてありますか
- ☐ 壁穴に保護パイプをつけましたか
- ☐ 壁穴部のシールは確実にしましたか
- ☐ 試運転をしましたか
- ☐ 取扱説明書の表紙に記載された形式名のうちの、据え付けた形式名の前に○印を付けましたか
（取扱説明書が2機種以上の共用になっている場合）
- ☐ お客様に正しい取り扱い方と、運転のしかたを説明しましたか

サービス記録

年 月 日	サービス内容	サービス担当者

キリトリ線から切りはなし、据付時の点検、サービスの記録として、お店で保管、ご使用ください。